



2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東
 コード番号 2180 URL https://ssug.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 本部長 (氏名) 大竹 貴也 TEL 03-6894-3233
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	4,676	35.8	361	157.2	404	89.0	215	68.4
2022年6月期第1四半期	3,444	-	140	-	213	-	127	-

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 285百万円 (141.2%) 2022年6月期第1四半期 118百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	14.41	-
2022年6月期第1四半期	8.48	-

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年6月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	8,344	2,837	32.4
2022年6月期	7,548	2,820	35.7

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 2,705百万円 2022年6月期 2,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2023年6月期	-	-	-	-	-
2023年6月期（予想）	-	0.00	-	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	1.9	1,000	30.2	1,020	△20.6	640	10.1	42.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）bills waikiki LLC
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	15,191,600株	2022年6月期	15,191,600株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	277,456株	2022年6月期	128,708株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	14,940,577株	2022年6月期1Q	15,062,932株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意点）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2022年11月14日（月）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年7月1日～2022年9月30日)における当社グループは、グループシナジーを活かした企画力とメディアリレーションを強みに、「PRコミュニケーショングループ」としてソリューションを提供しながら、中長期的な企業価値向上を目指して、「成長分野へのリソースの効果的投下」と「経営のより一層の効率化」に取り組んでまいりました。それらを推進するため、独自の福利厚生「32の制度」を拡充し、従業員一人ひとりが働きやすい環境を整備するとともに、取締役会の半数を独立社外取締役とする構成に変更し、ガバナンスの更なる強化を図りました。

ポストコロナへの本格シフトを見据えた当社グループでは、社会的ニーズや価値観の変化に伴う需要を継続的に取り込むとともに、イベント需要の回復や急激に増加してきたグローバル企業からの依頼にも迅速に対応してまいりました。

売上高につきましては、基幹事業であるマーケティング&コミュニケーション事業が堅調に推移し、IP(知的財産)を活用した大手コンビニエンスストア向けの販促企画が好調なセールスアクティベーション事業がグループを牽引する結果となりました。

利益につきましては、事業ポートフォリオ見直しの観点から米国ハワイ州の事業撤退を決めたフードブランディング事業において、bills waikiki LLCの当社持分の第三者への譲渡やSUNNY SIDE UP INTERNATIONAL, INC.の清算手続きを完了するとともに、国内状況も持ち直し、赤字幅が大幅に縮小しました。また、ビジネスディベロップメント事業では、SDGsの達成、ソーシャルグッド及びウェルビーイングなど、社会課題の解決に資するビジネスが成長したことに加え、事業開発に係る費用が先行する企業の業績進捗管理を厳格化した結果、事業全体で利益改善が進みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	4,676百万円 (前年同期比 35.8%増)
営業利益	361百万円 (前年同期比 157.2%増)
経常利益	404百万円 (前年同期比 89.0%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	215百万円 (前年同期比 68.4%増)

セグメントの構成および業績は次のとおりです。

セグメント区分	構成子会社
①マーケティング&コミュニケーション事業	(株)サニーサイドアップ (コンテンツ関連部署を除く。)
	(株)クムナムエンターテインメント
	(株)ステディスタディ
	(株)スクランブル
	(株)エアサイド
②セールスアクティベーション事業	(株)ワイズインテグレーション
	(株)サニーサイドアップ (コンテンツ関連部署)
③フードブランディング事業	(株)フライパン
	SUNNY SIDE UP KOREA INC
④ビジネスディベロップメント事業	(株)グッドアンドカンパニー
	(株)サニーサイドアップパートナーズ
	(株)アジャイル

①マーケティング&コミュニケーション事業

当事業では、PRを軸に、プロモーション、スポーツマーケティング、ブランディング、コンテンツ開発等、マーケティング及びコミュニケーションに関する多様なソリューションを提供しております。

当社グループの中核会社である(株)サニーサイドアップでは、企画力とメディアリレーションを強みとして、特定の業種に限定することなく、多様な商品・サービス、イベント、商業施設等のPRを手掛けるとともに、依頼が増加してきたグローバル企業の案件も受注しています。

(株)クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとして、日本及び韓国の人気アーティスト、有名プロスポーツ選手等を起用したブランディングやコンテンツ開発を手掛けています。

(株)ステディスタディでは、ファッション・ライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を

活用し、PRやイベントの企画・制作・運営、コンサルティングを提供しています。

(株)エアサイドは、高いクリエイティビティとエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けています。また、(株)スクランブルでは、インフルエンサーとYouTubeやInstagram等のSNSを組み合わせたマーケティングサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、(株)サニーサイドアップでリテナー契約の更新・新規獲得が進んだほか、巣ごもり需要や回復局面にあるイベント需要を取り込んだスポット契約も順調に推移しました。また、ハイエンドブランドや商業施設のイベント受託が増加した(株)ステディスタディもセグメント業績に寄与しました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,562百万円 (前年同期比 5.2%増)
セグメント利益	418百万円 (前年同期比 6.6%増)

②セールスアクティベーション事業

当事業では、店頭等での消費者とのコンタクトポイントにおける購買・成約の意思決定を促すためのノウハウ・ソリューションを提供しております。

(株)ワイズインテグレーションでは、商品キャンペーンの企画からグッズ制作、雑貨の商品企画及びOEM、国際支援団体のマーケティングサポート等を展開するとともに、受注型ビジネスからの脱却を図るため、自社商材・サービスを拡充しています。当第1四半期連結累計期間においては、大手ハンバーガーチェーン向けの販促企画、大手食品・飲料メーカーのコミュニケーション戦略・PR案件を手掛けるとともに、人気キャラクターを起用した商品企画が底堅く推移しました。

(株)サニーサイドアップのコンテンツ関連部門では、タレントやキャラクター等のIPを活用したコンテンツ制作及び販促施策を手掛けています。

当第1四半期連結累計期間におきましては、(株)サニーサイドアップのコンテンツ関連部門で大手コンビニエンスストア向けの販促企画が大きく伸長し、グループ売上高を牽引したものの、(株)ワイズインテグレーションが前期に獲得した大型キャンペーンの反動減や海外でのグッズ制作における為替変動等の影響を受け、セグメント利益は微増にとどまりました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,316百万円 (前年同期比 88.7%増)
セグメント利益	148百万円 (前年同期比 0.7%増)

③フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の国内におけるブランディング、ライセンシングビジネス及び韓国におけるライセンス管理と店舗運営を行っております。

当第1四半期連結累計期間における国内及び韓国の状況は以下の通りです。

(国内)

直営7店舗を展開する国内では、当第1四半期連結累計期間に出退店はなかったものの、「bills 横浜赤レンガ倉庫」(神奈川県横浜市中区)につきましては、入居する商業施設の改装工事に伴い、2022年5月9日より一時休業(2022年12月上旬頃に再オープン予定)となっております。

当第1四半期連結累計期間においては、まん延防止等重点措置の適用はなく、感染防止対策を講じて営業を行いました。インバウンド需要への依存度が高い店舗では客足の戻りが鈍かったものの、その他の店舗では回復の動きが見られました。

(韓国)

韓国では2店舗を展開し、売上高は引き続き堅調に推移しております。飲食サービス業界における人手不足を受けて、人員配置の見直しや店舗オペレーション負荷の軽減など、効率的な店舗運営に努めるとともに、スタッフのモチベーション維持向上にも努めました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、米国ハワイ州からの事業撤退が完了し、前期の損失が解消されたことに加え、国内状況の持ち直しもあり、赤字幅が大幅に縮小しました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	634百万円 (前年同期比 20.5%増)
セグメント損失	△2百万円 (前年同期実績 △110百万円)

④ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメント特性上、費用が先行する傾向にあります。

(株)グッドアンドカンパニーでは主に、社会全体の共通課題であるサステナビリティの実現に向けたコミュニケーションサービスを提供しています。当第1四半期連結累計期間においては、女性ひとり一人の“Well-Living（よりよく生きることができる状態）”をデザインする啓発プロジェクトを中心に手掛けました。

(株)サニーサイドアップパートナーズでは、事業シーズ、パートナーの発掘及び事業スキーム策定、ならびに事業化後における管理・運用業務を行っております。また、(株)アジャイルでは、グループが有する資産やIPを組み合わせ、新業態・新商品の開発支援及びコンサルティングサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間におきましては、(株)グッドアンドカンパニーで女性の“Well-Living”に関するプロジェクトが伸長したほか、事業開発に係る費用が先行していた(株)アジャイルの業績進捗管理を厳格化した結果、事業全体で黒字転換しました。

これらの結果、当事業の当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	162百万円	(前年同期比	20.5%減)
セグメント利益	27百万円	(前年同期実績	△43百万円)

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、8,344百万円（前連結会計年度末比795百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が6,680百万円（同837百万円増）、固定資産が1,664百万円（同41百万円減）であります。また、負債合計は、5,507百万円（同778百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が4,641百万円（同972百万円増）、固定負債が865百万円（同194百万円減）であります。純資産合計は、2,837百万円（同17百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,230,172	2,446,766
受取手形	24,352	6,380
売掛金	1,958,834	3,047,627
商品及び製品	1,763	3,889
未成業務支出金	295,187	617,835
原材料及び貯蔵品	24,346	21,505
その他	319,412	556,961
貸倒引当金	△10,876	△20,310
流動資産合計	5,843,193	6,680,654
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	374,714	343,344
有形固定資産合計	374,714	343,344
無形固定資産		
のれん	317,539	307,184
その他	10,566	15,089
無形固定資産合計	328,106	322,274
投資その他の資産		
その他	1,065,512	1,033,152
貸倒引当金	△62,533	△34,548
投資その他の資産合計	1,002,979	998,603
固定資産合計	1,705,799	1,664,222
資産合計	7,548,992	8,344,877
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,062,193	1,443,771
短期借入金	538,000	1,687,369
1年内返済予定の長期借入金	521,187	423,401
未払法人税等	398,362	171,682
賞与引当金	-	1,632
役員賞与引当金	129,071	-
契約負債	180,720	317,381
その他	838,855	596,025
流動負債合計	3,668,390	4,641,263
固定負債		
長期借入金	661,140	532,450
資産除去債務	125,659	125,438
その他	273,650	208,069
固定負債合計	1,060,451	865,959
負債合計	4,728,841	5,507,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,764	547,764
資本剰余金	696,127	696,127
利益剰余金	1,543,800	1,578,359
自己株式	△30,448	△130,456
株主資本合計	2,757,244	2,691,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,191	1,455
繰延ヘッジ損益	-	22,100
為替換算調整勘定	△63,233	△9,360
その他の包括利益累計額合計	△62,041	14,196
新株予約権	100,016	112,900
非支配株主持分	24,931	18,761
純資産合計	2,820,150	2,837,654
負債純資産合計	7,548,992	8,344,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,444,461	4,676,164
売上原価	2,747,996	3,747,733
売上総利益	696,464	928,430
販売費及び一般管理費	556,051	567,289
営業利益	140,413	361,141
営業外収益		
受取利息	39	41
助成金収入	43,276	59,366
その他	33,797	10,067
営業外収益合計	77,113	69,475
営業外費用		
支払利息	2,581	2,407
持分法による投資損失	-	4,030
為替差損	-	12,260
その他	973	7,614
営業外費用合計	3,554	26,312
経常利益	213,972	404,303
特別利益		
固定資産売却益	-	1,636
特別利益合計	-	1,636
特別損失		
固定資産除却損	138	-
子会社出資金売却損	-	29,342
特別損失合計	138	29,342
税金等調整前四半期純利益	213,834	376,597
法人税等	96,330	167,454
四半期純利益	117,504	209,143
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,326	△6,169
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,830	215,313

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	117,504	209,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	264
繰延ヘッジ損益	-	22,100
為替換算調整勘定	759	53,873
その他の包括利益合計	814	76,237
四半期包括利益	118,318	285,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,644	291,551
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,326	△6,169

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式148,700株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が100,007千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が130,456千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、全出資持分を譲渡したことに伴いbills waikiki LLCを連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング &コミュニケーション 事業	セールスア クティベーション 事業	フードブラ ンディング 事業	ビジ ネスディベ ロップメン ト事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,485,881	1,227,474	526,758	204,347	3,444,461	-	3,444,461
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	29,520	4,542	432	23,274	57,769	△57,769	-
計	1,515,402	1,232,016	527,190	227,621	3,502,231	△57,769	3,444,461
セグメント利益 又は損失(△)	392,649	147,031	△110,231	△43,770	385,678	△245,265	140,413

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△341,526
全社費用(注)	96,261
合計	△245,265

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング &コミュニケーション 事業	セールスア クティベーシ ョン事業	フードブラ ンディング 事業	ビジ ネスディベ ロップメン ト事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,562,430	2,316,502	634,681	162,550	4,676,164	-	4,676,164
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,325	4,010	934	10,990	42,260	△42,260	-
計	1,588,756	2,320,512	635,615	173,541	4,718,425	△42,260	4,676,164
セグメント利益 又は損失(△)	418,391	148,066	△2,121	27,292	591,629	△230,488	361,141

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△333,892
全社費用(注)	103,404
合計	△230,488

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	マーケティング &コミュニケーション事業	セールスアク ティベーション事業	フードブランデ ィング事業	ビジネスディベ ロップメント事 業	
日本	1,438,917	1,224,747	417,961	202,847	3,284,473
アジア	18,434	2,727	103,965	1,500	126,627
米国	13,578	—	4,830	—	18,409
欧州	14,951	—	—	—	14,951
顧客との契約から生じ る収益	1,485,881	1,227,474	526,758	204,347	3,444,461
外部顧客への売上高	1,485,881	1,227,474	526,758	204,347	3,444,461

当第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	マーケティング &コミュニケーション事業	セールスアク ティベーション事業	フードブランデ ィング事業	ビジネスディベ ロップメント事 業	
日本	1,368,031	2,315,131	488,820	158,650	4,330,634
アジア	109,797	1,370	145,860	3,900	260,929
米国	65,057	—	—	—	65,057
欧州	19,543	—	—	—	19,543
顧客との契約から生じ る収益	1,562,430	2,316,502	634,681	162,550	4,676,164
外部顧客への売上高	1,562,430	2,316,502	634,681	162,550	4,676,164